

主催：一般社団法人地域ケア総合研究所

地域包括ケアシンポジウム2019

2018年同時改定の検証と次期改定(2024年同時改定含む)への方向

1、医療保険制度：急性期医療(民間病院と公的病院)と在宅医療の役割を考える

- * 地域課題としては、医療費の地域(都道府県)格差と公的病院への赤字補てん拡大(財務諸資料)救急を積極的に受ける民間急性期病院は人材不足！・赤字当たり前の公的病院？は人材OK？在宅医療(医師・看護師・介護職等)の高齢化・人材不足が大きな課題です。

「治し支える医療」へ大転換

2、介護保険制度：包括報酬化の更なる推進を提言(地域包括ケア研究会5月公表)

- * 地域・在宅での中・重度者・認知症・医療的ケアへの支援(24時間365日体制)強化に向けて地域内包括報酬化の動き加速！単品サービスの終焉か？全てが多機能化へ！
- * アウトカム(結果)評価への対応急務！「やったこと・人員配置の評価から結果評価への大転換」自立支援と重度化防止の観点から：「改善又は維持させる介護」へ大転換

日 時 **2019年7月20日(土)10:30～18:15**

場 所 長野県佐久市：長野県佐久市：佐久平プラザ21 2階「樁の間」

参加費 15,000円(定員60名)

日	時間	内 容
7 月 20 日 (土)	10:30	問題提起：エンディングノート(在宅死・住み慣れた地域で最後を)からの地域課題 ○民間病院(人材不足！現場が疲弊)・公的病院(赤字補てん多発・地方財政危機) ○在宅医療と介護の24時間365日体制＝専門職の高齢化・人材不足 ○地域包括ケアシステムに貢献する法人評価(独自)について 一般社団法人地域ケア総合研究所 所長 竹重 俊文
	11:10	次期改定対策(アウトカム評価)自立支援と重度化防止を目指した 回復期リハと生活期リハ(老健・特養・通所・訪問機能強化)の実践例 講師 医療法人社団友志会(栃木県)リハビリテーション部長 砂川 剛氏
	13:00	記念講演「社会保障制度の歴史とこれからの前進に果たす医療と介護の役割」 地域包括ケア包括報酬化の更なる推進とは「5月公表：報告書解説」 講師：埼玉県立大学 理事長・慶應義塾大学 名誉教授 田中 滋 氏
	14:30	基調講演：I 「社会医療法人：地域の中核病院の役割」 ① 地域包括ケアシステムに貢献している法人として評価される仕組みの構築 ② 働き方改革の一環として業務時間短縮への取組 ③ 在宅診療医養成に関する取組 ④ 第1走から第4走までの連携強化と相互の意見の反映 講師：社会医療法人白十字会(長崎県佐世保市) 理事長 富永 雅也 氏 基調講演：II 「在宅医療と介護の役割」 ～地方無床クリニックにおける地域包括ケアへの取り組み(計画)～ ○クリニック+通りハ・訪リハ+看多機・小多機+住まい =一般病院・老健機能？ 講師：医療法人誠医会(福井県越前市) 理事長 月岡 幹雄 氏
16:50	講師と参加者との意見交換会 ○終了後18:30～20:30懇親会	

FAX:0268-75-5270

参加申込書

- 1、団体名・個人名【 】
- 2、担当者名:
- 3、住所:【〒 】
- 4、ご連絡先: TEL: — — FAX: — —
- 5、参加者 ※希望に○

N O	氏 名	参加費 15,000 円	宿泊費(全室禁煙のみ) 1泊 7,000 円(朝食付き)		懇親会費 5,000 円
			前泊 19日希望	20日希望	
1					
2					
3					
4					

参加費振込合計

円

●参加費振込み↓

八十二銀行 上田東支店 普通口座 1045811 <small>イッパンシャダンホウジンチイキケ アソウゴウケンキョウジョ</small> 一般社団法人地域ケア総合研究所 代表理事 竹重俊文

○会場への案内



佐久平プラザ21
 〒385-0028 長野県佐久市佐久平駅東 2-6
 TEL 0267-65-8811/FAX 0267-65-8842
 佐久ICから3分
 佐久平駅蓼科口から徒歩2分
 ※研修に関して会場への直接の連絡はご遠慮ください。

※申込みいただきましたら受講票をFAXにて送付します

※会場の詳細案内は受講票とともに送らせていただきます

主催：一般社団法人地域ケア総合研究所

問い合わせ：TEL：0268-75-0430 FAX：0268-75-5270